

日時：令和 7 年 4 月 16 日（水） 15:00～ 17:00

方式・場所：日本応用地質学会事務局（WEB）

出席（対面）：船山部会長、堀幹事、大谷幹事、宇佐美、佐伯 各委員（5名）

出席（WEB）：清崎、菅野 各委員（2名）

欠席（委任）：竹村副部会長、塩崎、清崎 各委員（2名）

不明：池見、磯部、山本、島村、太田、福田、各委員（6名）

顧問：稻垣顧問（1名）

#### 議事録

##### 1. 部会長挨拶

- ・出欠確認

##### 2. 令和 6 年度第 6 回部会議事録案の確認

- ・議事録の内容について確認

##### 3. 各種報告

1) 理事会報告（船山）：産官学地質リスク発表会予定、R7 総会、R7 学会アクションプラン、災害部会のアウトリーチ計画、将来構想、Q&A 計画、R7 研究発表会

##### 《2月理事会》

- ・新入部会員（菅野）承認
- ・地質リスク発表会（6月予定）
- ・事業企画委員会が街中ジオ散歩を実施予定（5月11日予定）
- ・能登半島地震調査団報告会報告（1月11日開催）
- ・災害地質研究部会から、防災教育を行いたいとの話があった（菊池委員：諏訪東京理科大学）

##### 《3月理事会》

- ・50～60代の退会者が多い。シニア技術者の引き留め。
- ・R6 事業報告、R7 事業計画を理事会に提出
- ・学会アクションプラン
- ・応用地質学教育普及委員会が合同資源工場見学（8月29日予定）
- ・防災学術連携体において能登半島地震調査団報告を行う。
- ・将来構想特別委員会 Q&A 集作成を担当する。理念体系についても検討する。
- ・10月の研究発表会 ふるさとの石ポスターを環境地質研究部会で出す。
- ・R6 総会・シンポジウム（6月13日） シンポジウムは複合災害がテーマ。

2) 学会 HP の更新（船山）：学会の HP システムを広報情報委員会が大規模に更新している。

3) ダイバーシティ推進委員会報告（佐伯委員、清崎委員）：とくになし

##### 4. 再生可能エネルギー連載

- ・第 13 回「中小水力」2025/4 月に掲載済
- ・第 14 回「再生可能エネルギーと応用地質」12 月投稿、3 月受理、6 月号掲載予定  
➤ CCS は再生可能エネルギーに該当しないとの指摘があり、その他に分類した。
- ・第 15 回「再生可能エネルギー」連載シリーズを終えるにあたって」同上

## 5.WG 活動報告

### (1) WG 概要 (2024/8 部会で再編)

環境地質研究部会 ワーキンググループ 活動状況					
グループ番号	グループ名	担当 ○：リーダー	活動概要	R6計画	R5実績
				2024	2023
WG-A	ジオ・メリット研究グループ	○宇佐美委員、清崎委員 ○山本委員、池見委員、佐伯委員 塩崎委員	地域の地質の恩恵や防災上の留意点について、一般市民への啓発活動や地域産業等への貢献に関する研究を行う。	・公園展示の石や建築物石材などの市民への解説 ・公園関係者への防災教育協力	・都立武藏野の森公園を訪問し、公園展示の「ふるさとの石」の補足解説や防災活動への協力について継続的に意見交換
WG-B	人工構造物研究グループ	○大谷幹事、竹村副部会長 磯部委員 ○堀幹事	道路等のインフラや盛土等の人工地層に影響を及ぼす地質条件に関する研究を行う。	・能登半島地震での被害との関係について研究、研究発表会で発表	・「神奈川県の古代東海道」の研究報告 ・盛土規制法の話題提供
WG-C	自然環境研究グループ	○船山部会長、竹村副部会長、島村委員、佐伯委員	自然環境を活用した応用地質技術に関する研究を行う。		
WG-D	再生可能エネルギー研究グループ	○清崎、船山、宇佐美、塩崎、堀	再生可能エネルギーについて、応用地質分野とかかわりのある事項について研究を行う。	・再生エネルギー学会誌連載のまとめ、研究発表会で発表	・令和5年9月9日（土）に神奈川県相模川流域において巡検 ・第12回2023/4月号掲載 海洋エネルギーを利用した発電技術と応用地質 ・海上風力発電の海底地盤調査について、田中氏（基礎地盤コンサルタント）より話題提供

### (2) WG 活動状況

#### 1) WG-A ジオ・メリット研究グループ

①・ふるさとの石プロジェクト関係：企画、防災支援の件等（佐伯委員、宇佐美委員）

・武藏野の森公園との調整状況（佐伯委員）

- 3月20日にふるさとの石解説に参加した。4連休の初日であり、高校生の参加が7名（例年は20名程度）であった。高校生が、ふるさとの石の説明、公園周辺の地形の説明を行った。観察会は45分の予定であったが、説明者が少なかったため、30分に短縮した。
- 継続して解説会を行わないと、定着が難しいように感じた。とくに石に興味がある参加者は、いないようであった。
- ふるさとの石解説シートを高校の先生に渡したところ、感謝された。
- ふるさとの石公園で、高校生を対象としてふるさとの石の解説会を自主的に行うことが考えられる。
- 10月～11月に公園で、防災フェスタを行っているので、可能であれば協力する案も考えられる。
- 研究発表会のポスター案では、日本の地質図に解説シートを入れたものを試作している。各時代の地層の分布に解説・コラムと代表的な解説シートを入れている。
- ふるさとの石公園の担当者には、佐伯委員が再度、防災フェスタへの協力で連絡を試みる。
- 秋川流域ジオの会の代表者は府中高校の前顧問で、毎月、講演会・勉強会を実施している。佐伯委員が代表者を訪問して、ふるさとの石観察会の経緯などを聞いてみる。

- 相模原の公園に、始良丹沢火山灰の露頭があるので、巡検のルートに入れる案もある。
- ・石材解説シートの状況（佐伯委員、大谷幹事、船山、ほか）
  - ふるさとの石解説シートは、ふるさとの石公園にあるもの、日本地質学会の県の石にこだわらず、身近で解説シートができるものから作成する。
  - ふるさとの石解説シートのフォントは、小さいので、フォントについては、船山部会長が調整したものを使用する。
- ・「ふるさとの石」都道府県地質図の作成状況と研究発表会ポスター案（船山）
  - 地質年代・地層別の日本全国の地質分布図に石の解説シートを入れている。
  - 応用地質学の初年者、一般市民を対象としている。
- ②「ジオ・メリット」学会誌アラカルトシリーズのリライト  
以下状況報告と今後の予定
  - ・巻頭言：船山
  - 連載計画が連載途中で追加になる可能性があるので、具体的には詳述しない。
  - 非学会員の原稿については、原稿を要約して引用元を明記する。図表・写真については、非学会員のオリジナルであれば、使用可能である。孫引きについては、使用しない。
  - ・お酒と地質：船山
  - ・石材：大谷幹事
  - ・温泉・地熱資源、エネルギー：清崎委員
  - ・地下空間利用：塩崎委員
  - ・他：宇佐美委員

## 2) WG-B 人工構造物研究グループ（インフラ、盛土等の人工地層など）

- ・研究計画等（大谷幹事）
- 能登半島の地震・豪雨による地形変化が人間生活にどのように影響するかについて現象を整理して、今後の地震災害に向けての提言をまとめる。

## 3) WG-C 自然環境研究グループ

- ・研究計画等（船山）
- シラス、蛇紋岩と植生の関係について研究を進める。

## 4) WG-D 再生可能エネルギー研究グループ

- ・連載シリーズ 4月号掲載（13）、受理・印刷中・6月号予定（14, 15）
- ・部会だよりで、2024年10月研究発表会予定だったポスターを掲載

## 6.話題提供、巡検等

### (1) 巡検

- ・笠間の稻田石採石場周辺
- 巡検で回りたいところがあれば、次回の研究部会までに希望を出す。
- 笠間焼の陶土など
- 高橋氏のブドウ園については、塩崎委員から情報をもらう。

## (2) HP 更新

- ・ 6月の総会後に HP を更新予定
- 広報・情報委員会が HP 更新の後に希望者に講習会を行う予定。部会長と幹事が参加予定。

## 7. 予定その他

### 1) 次回研究部会日程

6月4日（水）15：00～17：00

## 添付資料

資料 1 R7 第7回議事次第

資料 2 R6 第6回部会議事録（案）

資料 3-1 第11回、12回理事会資料（抜粋）

資料 3-2 特別委員会報告、ダイバーシティ推進委員会報告

資料 4-1 再生可能エネルギー連載 中小水力編集校

資料 4-2 再生可能エネルギー連載 査読指摘

資料 4-3 再生可能エネルギー連載 再生可能エネルギーと応用地質 表の修正

資料 5-1 WG-A 資料 ふるさとの丘プロジェクト、防災教育関係（佐伯・宇佐美委員）

資料 5-2 WG-A 資料 ふるさとの石 解説シート案等（佐伯・大谷委員・船山ほか）

資料 5-3 WG-A 資料 「ふるさとの石」都道府県地質図の作成状況（船山）

資料 5-4 WG-A 資料 ジオ・メリット掲載実績一覧

資料 5-5 ジオ・メリット リライト原稿案（船山、塩崎、堀、宇佐美）

資料 5-6 WG-B 資料 能登半島地震 地震と豪雨による地形変化

以上